

令和 7 年度 事業報告

令和 7 年度は、当協会の設立目的である交通安全と事故防止等を図るための諸活動を実施するとともに、自転車等対策事業及び自動車等対策事業においては、「お客様サービスの向上」を第一に、適正な業務執行の確保などに努めました。

交通安全対策事業では、子どもや高齢者及び自転車の交通安全と事故防止対策に重点を置いて推進しました。

横浜市、区役所、神奈川県、神奈川県警察、地区交通安全協会及び関係団体（以下「関係団体等」という。）と連携して、地域の実情に合わせて、子どもから高齢者までの各世代に応じた、「はまっ子交通あんぜん教室」、「ヨコハマ・シルバー・セーフティスクール」、自転車交通安全教室等、交通事故防止のための諸事業を展開しました。

自転車等対策事業では、横浜市営自転車駐車場の管理運営業務については、西部区域計 5 区の運営を着実に実施しました。

放置自転車等の移動、保管・返還等の業務については、西部区域及び北部区域を受託し、駅前広場や周辺の道路における歩行者の安全を図るとともに、町の美観保持に寄与しました。

横浜市交通安全協会自転車会の入会者数（会員数）は、8, 838 人となりました。

自動車等対策事業では、違法駐車をなくし、交通事故の防止に寄与するため、駐車場を整備するとともに、お客様に安全で快適に利用していただけるよう管理運営を行いました。

また、75 歳以上の高齢運転者が運転免許更新時に実施する認知機能検査は神奈川県公安委員会の認定機関として実施しました。

令和 7 年度 総務関係報告

1 組織・体制

(1) 組織・人員の現況（令和 8 年 3 月 3 1 日現在）

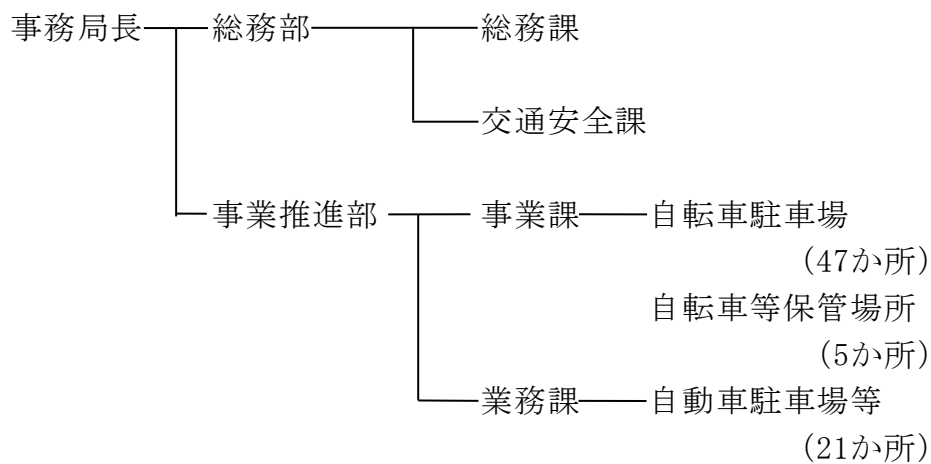
ア 役員・評議員

理 事（ 5 ）（会長 1、副会長 3、専務理事 1）

監 事（ 3 ）

評議員（ 1 7 ）

イ 事務局組織



ウ 職員数

事務局本部（常勤役員を含む。）	2 1 人
自転車駐車場	8 5 人
自転車等保管場所	1 8 人
自動車駐車場	1 5 人
計	1 3 9 人

2 協会機関会議等の開催

(1) 理事会（4回）

令和 7 年 5 月 3 0 日

- ・ 令和 6 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
- ・ 公益目的支出計画実施報告書(案)について
監査報告
- ・ 報告（交通安全功労者表彰式日程）

令和7年6月19日

- ・会長、副会長及び専務理事の選定について

令和7年9月1日

- ・令和7年度交通安全功労者等の被表彰者の決定について
- ・報告（令和7年度事業の執行状況報告について）

令和8年3月19日

- ・令和8年度事業計画(案)について
- ・令和8年度収支予算(案)について
- ・評議員会及び理事会等の日程について
- ・報告（令和7年度事業の執行状況について）

（2）評議員会（1回）

令和7年6月19日

- ・令和6年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
- ・公益目的支出計画実施報告書(案)について
監査報告
- ・理事及び監事の選任について
- ・評議員の選任について
- ・その他（個人情報保護研修）

（3）監 査

令和7年5月26日

次の内容について監事による監査を実施しました。

- ・令和6年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
- ・公益目的支出計画実施報告書（案）について

3 理事、監事及び会長等の退任及び選任

評議員会において、任期満了に伴う理事及び監事の選任が行われ、理事5名、監事2名が再任、監事1名が新任となりました。

評議員会後開催された理事会において、会長、副会長及び専務理事の選定が行われ、会長、副会長及び専務理事全員が再任されました。

（敬称略）

(1) 理事の退任及び就任

- ・令和7年6月19日の評議員会の終結の時 退任
板 橋 悟 工 藤 明 馬 場 正 治
加 藤 恒 雄 佐 竹 広 則
- ・令和7年6月19日の評議員会の終結の時 就任
板 橋 悟 工 藤 明 馬 場 正 治
加 藤 恒 雄 佐 竹 広 則

(2) 監事の退任及び就任

- ・令和7年6月19日の評議員会の終結の時 退任
八 卷 裕 仁 坂 本 連 三 石 孝 司
- ・令和7年6月19日の評議員会の終結の時 就任
坂 本 連 三 石 孝 司 室 井 烈

4 評議員の退任及び選任

評議員会において、任期満了等に伴う評議員の選任が行われ、地区交通安全協会や横浜市からご推薦をいただいた方々全員が選任され、評議員13名が再任、4名が新任となりました。その後、次のとおり評議員が退任されました。
(敬称略)

(1) 評議員の退任及び選任

- ・令和7年6月19日の評議員会の終結の時 退任
西 條 敏 一 室 井 烈 服 部 次 男
長谷川 史 浩 依 田 龍 治 小 松 範 昭
大 野 慶 太 小 磯 守 内 倉 忠 勇
磯 部 敏 夫 鈴 木 正 雄 川 邊 重 男
森 克 巳 相 澤 暁 三 藤 木 幸 吉
田 中 洋 介
- ・令和7年6月19日の評議員会の終結の時 選任
西 條 敏 一 服 部 次 男 長谷川 史 浩
増 尾 誠 一 小 松 範 昭 大 野 慶 太
小 磯 守 内 倉 忠 勇 嶋 村 公
鈴 木 正 雄 倉 本 澄 夫 川 邊 重 男
森 克 巳 石 井 喜代志 相 澤 暁 三
藤 木 幸 吉 田 中 洋 介

(2) 評議員の退任

- ・令和8年3月31日 退任
田 中 洋 介

理事名簿

令和 8 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	所 属 等
代表理事・会長	板 橋 悟	保土ヶ谷交通安全協会
理事・副会長	工 藤 明	青葉交通安全協会
理事・副会長	馬 場 正 治	山手交通安全協会
理事・副会長	加 藤 恒 雄	都筑交通安全協会
業務執行理事・専務理事	佐 竹 広 則	(一財)横浜市交通安全協会

任期：令和 9 年 6 月まで

監事名簿

令和 8 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	所 属 等
監 事	坂 本 連	(一財)横浜市交通安全協会
監 事	三 石 孝 司	戸部交通安全協会
監 事	室 井 烈	磯子交通安全協会

任期：令和 11 年 6 月まで

評議員名簿

令和 8 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	所 属 等
評議員	西 條 敏 一	加賀町交通安全協会
評議員	服 部 次 男	金沢交通安全協会
評議員	長谷川 史 浩	(一社)南交通安全協会
評議員	増 尾 誠 一	伊勢佐木交通安全協会
評議員	小 松 範 昭	(一財)神奈川交通安全協会
評議員	大 野 慶 太	(一社)鶴見交通安全協会
評議員	小 磯 守	(一財)旭交通安全協会
評議員	内 倉 忠 勇	港南交通安全協会
評議員	嶋 村 公	(一財)港北交通安全協会
評議員	鈴 木 正 雄	緑交通安全協会
評議員	倉 本 澄 夫	青葉交通安全協会
評議員	川 邊 重 男	戸塚交通安全協会
評議員	森 克 巳	栄交通安全協会
評議員	石 井 喜代志	(一社)泉交通安全協会
評議員	相 澤 暁 三	瀬谷交通安全協会
評議員	藤 木 幸 吉	横浜水上交通安全協会
評議員	田 中 洋 介	横浜市道路局

任期：令和 11 年 6 月まで

令和 7 年度 交通安全対策事業報告

令和 7 年の横浜市内の交通事故発生件数は、7,240 件と前年より 23 件減少し、怪我をされた方も 8,142 人と前年より 179 人減少しました。

また、交通事故で亡くなられた方は、42 人より前年より 2 人増加し、特に道路横断中などの歩行者や自転車利用者が被害に遭われる交通事故が全体の 6 割以上を占めております。

令和 7 年度中、当協会では、人命尊重を活動の基本とし、市民の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールへの遵守と交通マナーの実践を習慣づけるため、関係団体等と連携して、次の 5 つの事業を推進しました。

- 1 交通安全活動事業
- 2 広報啓発事業
- 3 交通安全功労者表彰事業
- 4 交通安全活動団体への支援事業
- 5 各種交通安全運動との連携事業

1 交通安全活動事業

関係団体等と連携して、子ども、高齢者、自転車に関係する交通事故防止を重点とした交通安全活動を実施しました。

(1) 子ども（乳幼児、児童）の交通安全

事業名	実施内容
ア はまっ子交通安全教室	小学生を対象とした安全な歩き方や自転車の正しい乗り方などの基本的なルールを学ぶ交通安全教育、体験型教育（制動・巻き込み・死角実験）による交通安全教室の開催 開催数： 302 回 （対前年度 + 18 回） 参加者数： 65,025 人 （対前年度 +6,400 人）  小学校での交通安全教室 (鶴見)  小学校での交通安全教室 (都筑)

イ チャイルドシート着用教室	各地区交通安全協会母の会と連携したチャイルドシート着用の向上を図る教室の開催 開催数： 45 回（対前年度 - 2 回） 参加者数： 1,757 人（対前年度 -322 人）  区役所での教室(都筑)
-----------------------	---

（２）高齢者の交通安全

事業名	実施内容
ヨコハマ・シルバー・セーフティスクール	高齢者を対象とした交通安全教室の開催 (ア) 体験実践型交通安全教室 開催数： 8 回（対前年度 + 1 回） 参加者数： 235 人（対前年度 - 5 人） (イ) 座学参加型交通安全教室 開催数： 21 回（対前年度 同 数） 参加者数：1,533 人（対前年度 - 25 人） (ウ) 運転指導型交通安全教室 開催数： 3 回（対前年度 - 3 回） 参加者数： 47 人（対前年度 - 41 人）  座学参加型交通安全教室(戸部)

(3) 自転車の交通安全

事業名	実施内容
横浜市自転車交通安全教室 (公募型指名競争入札)	横浜市が指定した中学校の生徒を対象とした自転車利用者の事故責任、自転車の通行場所、ながら運転の危険性等を学ぶ自転車交通安全教室の開催 開催数： 19 回 (対前年度 - 1 回) 参加者数： 4,989 人 (対前年度 + 235 人)  視聴覚教室での交通安全教室
自転車交通安全教室	小学生から高齢者までの幅広い年代を対象とした自転車交通安全教室の開催 開催数： 20 回 (対前年度 + 5 回) 参加者数： 1,951 人 (対前年度 + 900 人)  自転車交通安全教室 (神奈川)

(4) 二輪車の交通安全

事業名	実施内容
二輪車交通安全教室	二輪車ドライバーを対象とした交通安全教室の開催 開催数： 5 回 (対前年度 同 数) 参加者数： 58 人 (対前年度 - 8 人)  二輪車交通安全教室 (伊勢佐木)

(5) 地域住民を対象とした各種交通安全活動

事業名	実施内容
ア 地域に密着した交通安全活動	各種イベントの開催や駅前広場を利用した広報啓発活動の実施 実施数： 16 回 (対前年度 + 1 回) 参加者数： 19,079 人 (対前年度 - 2,771 人)  金沢区自転車マナーアップ大会 (金沢)

イ 指定地域特別対策等	交通事故多発地域に指定された区と連携した交通事故防止啓発活動の強化 ◆自転車交通事故多発指定地域（５月１日指定） 【鶴見区・港北区】 自転車用反射材の配付による啓発活動 ◆高齢者交通事故多発指定地域（９月１日指定） 【港南区・磯子区・緑区】 反射材ストラップの配付による啓発活動
-------------	--

（６）交通安全講話

事業名	実施内容
企業・団体向け交通安全講話	賛助会員企業・団体に対する交通安全講話の実施 ◆株式会社セノン様（７月26日、12月６日） ◆一般社団法人かながわ土地建物保全協会様（10月29日）

２ 広報啓発事業

新入学児童向け交通安全教材の配付や自転車駐車場等における安全運転・交通事故防止の広報啓発活動を実施しました。

事業名	実施内容
(1) 公式Xを活用した広報啓発	○ 交通事故防止のワンポイントアドバイスの情報発信による、県民の交通安全意識の高揚
(2) 新入学児童に対する広報啓発	○ 交通安全教育冊子の作成、市内全小学校の新入学児童への配付 冊 子：「新一年生のためのこうつうあんぜん」 配付数：32,500部
(3) 賛助会員に対する広報啓発	○ 各季の運動期間中の交通情勢について情報発信 ○ 関係事業所に対する交通事故防止の働きかけ
(4) 横浜市、県警察と連携した広報啓発	○ 各季の運動等における交通安全キャンペーン等の連携実施

(5) 自転車駐車場等 を拠点とする 交通安全活動	○ 各季の交通安全運動及び各種強化月間における自転車・自動車駐車場、自転車等保管場所における交通安全広報の実施
(6) 報道機関に対する交通安全情報の提供	○ 当協会の交通安全事業を広く周知させるため、報道機関に対しタイムリーな活動状況等の情報提供
(7) 自転車・高齢者の交通事故多発地域における広報啓発	○ 自転車交通事故多発地域である鶴見区・港北区 ○ 高齢者交通事故多発地域である港南区、磯子区、緑区に対し、地区交通安全協会を通じて広報啓発物品を配布
(8) 企業からの寄贈品を活用した広報啓発	○ 日産自動車株式会社横浜工場の社員一同様から、「反射材ストラップ」の寄贈を受け、鶴見区及び神奈川区の全小學校の新入学児童に配付

3 交通安全功労者表彰事業

令和7年度交通安全功労者表彰を、横浜市交通安全対策協議会との共催で次のとおり開催しました。

日 時	令和7年10月24日（金）午後2時～3時
会 場	ロイヤルホールヨコハマ
受 賞 者	功労者 個人 …………… 32人 功労者 団体 …………… 6団体 優良運転者 …………… 75人 

4 交通安全活動団体への支援事業

事業名	実施内容
(1) 横浜市内各地区交通安全協会が実施する事業への支援	ア 各種交通安全運動における広報啓発物品の提供 イ 交通安全活動事業への助成 ウ 各地区交通安全協会事務長会議の開催
(2) 横浜市交通安全母の会連合会が実施する事業への支援	チャイルドシート着用教室の開催支援 開催数： 6 回（対前年度 + 1 回） 参加者数： 123 人（対前年度 - 135 人）  乳幼児健診参加者に向けた着用教室
(3) セーフティ・チャレンジ・かながわへの協賛	3 人一組のチームを組んで 6 か月間、無事故・無違反に挑戦する交通安全コンクールの協賛 主催：セーフティ・チャレンジ・かながわ実行委員会

5 各種交通安全運動での連携事業

「安全は心と時間のゆとりから」を年間スローガンに、次に掲げる各季の運動、各種強化月間及び交通安全対策協議会等の安全運動にあわせて、関係団体等と連携して、交通安全活動を推進しました。

(1) 各季の運動

名 称	内 容
春の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	4 月 6 日(日) ～ 4 月 15 日(火) 4 月 10 日(木)
夏の交通事故防止運動	7 月 11 日(金) ～ 7 月 20 日(日)
秋の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	9 月 21 日(日) ～ 9 月 30 日(火) 9 月 30 日(火)
年末の交通事故防止運動	12 月 11 日(木) ～ 12 月 20 日(土)

(2) 各種強化月間

名 称	内 容
九都県市一斉 自転車マナーアップ強化月間	5 月 1 日(木) ～ 5 月 31 日(土)
二輪車交通事故防止強化月間 暴走族追放強化月間	6 月 1 日(日) ～ 6 月 30 日(月)
首都圏放置自転車 クリーンキャンペーン	10 月 1 日(水) ～ 10 月 31 日(金)
飲酒運転根絶強化月間	12 月 1 日(月) ～ 12 月 31 日(水)

(3) 横浜市交通安全対策協議会の安全運動

名 称	内 容
年間を通じて実施する取組	・ 子どもと高齢者の交通事故防止 ・ 自転車・二輪車の交通事故防止 ・ 視聴覚教材・交通安全パネルの貸出し等
特別対策	・ 自転車交通事故多発地域 【鶴見区・港北区】 ・ 高齢者交通事故多発地域 【港南区・磯子区・緑区】

令和 7 年度 自転車等対策事業報告

令和 7 年度の市営自転車駐車場の管理運営業務については、公募型プロポーザルにより受託した西部区域の提案項目を着実に実施しました。

放置自転車等の移動、保管・返還等の業務については、公募型指名競争入札の結果、西部・北部区域を受託し、駅前広場や周辺の道路における歩行者の安全を図るとともに、町的美観保持に寄与しました。

1 自転車駐車場の管理運営

(1) 市内 5 区における施設及び利用状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

合計 5 区 西部区域（旭区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区）

○ 自転車駐車場 …………… 47 か所

○ 収容台数 …………… 25,298 台

令和 7 年度自転車駐車場の収容台数増減 (台)

時期	自転車駐車場 (定期又は一時)	収容台数増減 自転車 / バイク	備考
7 月 1 日	東戸塚駅東口第二(一)	自転車 70 / バイク △55	区画転換の実施
8 月 4 日	本郷台駅(定)	自転車 75 / バイク △60	区画転換の実施
2 月 2 日	鶴ヶ峰駅南口第三(一)	自転車 30 / バイク △24	区画転換の実施
2 月 6 日	鶴ヶ峰駅北口第四(定)	自転車 △27 / バイク ± 0	既設ラック撤去
2 月 12 日	鶴ヶ峰駅北口第四(一)	自転車 15 / バイク ± 0	電磁ロック導入
2 月 12 日	鶴ヶ峰駅北口第三(一)	自転車 30 / バイク △20	区画転換の実施
2 月 24 日	希望ヶ丘駅南口第二(一)	自転車 △113 / バイク △13	電磁ロック導入

○ 平均利用台数及び利用率

平均利用台数は 24,833 台で、前年度に比べ 364 台増加しました。

なお、利用率は 98.2% でした。（年間稼働日数 292 日）

区 分		収容台数 ① (台)	平均台数 ② (台)	利用率 ②/①(%)
自転車	一時利用	4,094	5,023	122.7
	定期利用	12,039	12,411	103.1
	小 計	16,133	17,434	108.1
バイク	一時利用	2,052	1,697	82.7
	定期利用	7,113	5,702	80.2
	小 計	9,165	7,399	80.7
合 計		25,298	24,833	98.2
前年度実績(西部区域)		25,481	24,469	96.0
対前年度 増減		△183	364	

(注) 平均台数②については、一時利用は 1 日あたりの平均利用台数、定期利用は 1 ヶ月あたりの平均契約台数となります。

○ 利用券の販売状況

年間販売枚数は、2,075,634枚となり、前年度に比べ75,056枚の増（対前年度103.8%）となりました。

(枚)

区 分			販売枚数
自転車	一時利用		1,466,806
	定期利用	1 か月	39,746
		3 か月	36,495
	小 計		1,543,047
バイク	一時利用		495,519
	定期利用	1 か月	21,237
		3 か月	15,831
	小 計		532,587
合 計			2,075,634
前年度実績			2,000,578
対前年度 増減			75,056

(対前年度 103.8%)

(注) 免除件数は除いて計算

(参考) 横浜市整理手数料収入（西部区域）

当協会が取り扱った横浜市整理手数料は、619,441,960円となり、前年度に比べ、8,822,570円の増（対前年度101.4%）となりました。

(円)

区 分		7 年度	6 年度	対前年度増減
自転車	一時利用	132,590,400	125,304,760	7,285,640
	定期利用	265,952,500	262,945,000	3,007,500
	小 計	398,542,900	388,249,760	10,293,140
バイク	一時利用	56,766,060	56,926,130	△160,070
	定期利用	164,133,000	165,443,500	△1,310,500
	小 計	220,899,060	222,369,630	△1,470,570
合計		619,441,960	610,619,390	8,822,570

(対前年度 101.4%)

(注) 免除件数は除いて計算

(2) お客様サービス向上の取組

自転車駐車場運営理念・運営方針を踏まえ、次のとおり取り組みました。

ア 業務執行体制

機械化により、お客様サービスの向上を図り、効率的な執行体制の構築に努めました。

【本部】業務執行理事

事務局長

事業課長

主 事（２人）

指導員（２人）

【現場】場 長（１２人）

整理員（７３人）

一般財団法人 横浜市交通安全協会 自転車駐車場 運営理念・運営方針	
運営理念	市民利用施設であることを常に自覚し、効率的で利用者の立場に立った運営を行います。
運営方針	(ア) お客様の安全・安心・満足を第一に、より多くのお客様をお迎えします。 (イ) 感謝の気持ちを持って、公正・公平なサービスを提供します。 (ウ) 快適にご利用いただくため、日常の整理整頓、清掃、保守管理を徹底します。 (エ) 常にコスト意識を持って運営経費の節減を行います。 (オ) 地域に身近な施設として、地域への貢献を果たします。
平成27年11月改定	

イ サポートセンターを基軸としたワンストップサービスの提供

サポートセンターにより、きめ細やかな駐輪情報の案内や機器故障時の迅速な対応など、ワンストップサービスの提供によりお客様サービスの向上に繋がっています。

時間外・休日における機器故障等は５７件出動対応しました。

ウ 日常管理と巡回指導

お客様に気持ちよくご利用いただけるよう、整理員一人ひとりが「笑顔であいさつ」、「清潔な身だしなみ」を実践するとともに、こまめな整理整頓・清掃及び巡視を行いました。

また、本部指導員により定期的に現場巡回・指導を実施しました。

エ 接遇の向上に向けた取組

自転車駐車場整理員を対象に、実際の事例に基づいた接遇研修を全整理員に実施しました。

なお、お客様満足度調査（全自転車駐車場）を実施し、サービス改善に役立てました。

オ お客様からのご意見・要望

お客様からいただいた利用方法や接遇などのご意見・要望は、協会全体で受け止め、改善の事例として活かしました。（ご意見・要望は９５件）

(3) 地域貢献活動の実施

ア 子ども110番の家活動

地域の安全と安心に貢献するため、「子ども110番の家活動」を常駐・部分配置の自転車駐車場管理事務所13か所で行いました。

イ 災害発生時の対応に関する取組

各自転車駐車場に最寄りの「広域避難場所・地域防災拠点」や「帰宅困難者一時滞在施設」を記載した「避難MAP」を常備し、整理員が案内できるようにしました。

(4) 職場活性化に向けた取組

ア 従業員表彰の実施

円滑な自転車駐車場運営に寄与し、善行が認められた自転車駐車場及び整理員を対象に、会長表彰を行いました。

【表彰対象者等】団体：自転車駐車場3か所 個人：整理員12名

イ 再雇用整理員の雇用

経験や能力を活用するため、70歳を超えた整理員のうち、勤務成績や健康状態が良好な者を、再雇用整理員として計44人雇用しました。

(5) 適切な業務執行に向けた取組

ア 定期監査の実施

自転車駐車場管理事務所全14か所を対象に、定期監査を実施しました。

9月に個人情報や服務規律を含めた総合的な監査、3月には指導員による消耗品費・切手の監査を行いました。

監査結果は概ね良好であり、指摘事項については、速やかに改善しました。

イ 効率的な管理運営や利便性向上への取組

次の取組を行いました。

- ・バイク区画の一部を自転車区画に転換
- ・効率的な管理運営のため、電磁ロック式駐輪機の導入（2か所 / 計349台）
- ・満空 WEB サービスの導入（4か所 / WEB でリアルタイム満空状況が確認可能）
- ・デジタルサイネージの導入による、お客様へのご案内方法の拡充

ウ お客様が安全に利用できる運営管理

お客様などの急病時に応急処置ができるよう、新たに9か所の自転車駐車場に「AED」を設置しました。これにより、常駐・部分配置の自転車駐車場全てに設置が完了しました。

エ 自転車駐車場における盗難対策の実施

盗難対策として、次の取組を実施しました。

- ・整理員による場内巡回や声掛けの強化
- ・警察署と連携した防犯キャンペーンや防犯啓発看板の掲出
- ・管理事務所への重量金庫の設置継続
- ・券売機及び定期更新機への機械警備設置を継続実施

オ 未納整理料回収率向上への取組

未納整理料の回収率向上に向け、後払い札清算方法など分かりやすい案内に努めました。後払い札の貼付枚数は233,403枚で、回収枚数は194,480枚となりました。（回収率：83.3%）

対象年度	貼付枚数（枚）	回収枚数（枚）	回収率（%）
令和6年度	219,529	190,387	86.7
令和7年度	233,403	194,480	83.3

2 交通安全啓発活動の実施

（1）自転車駐車場及び保管場所における広報

各季交通安全運動及び強化月間に合わせ、次の取り組みを行いました。

- ・交通安全ポスター、のぼり旗、ミニのぼり旗の掲出
- ・本部職員、整理員の胸リボン着用による広報周知
- ・交通安全広報チラシ及び物品の配布
- ・令和7年4月1日からのヘルメット着用促進の広報

また、横浜市内の交通事故件数の掲出を行いました。



バイク利用者への広報チラシ配布



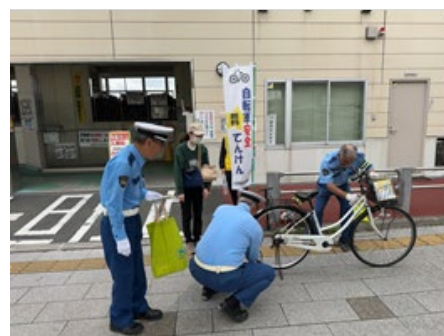
横浜市内の交通事故件数とヘルメット着用促進の広報

（2）自転車駐車場における活動

- ・地区交通安全協会と連携した、自転車駐車場における交通安全キャンペーン実施



自転車駐車場周辺での啓発活動



自転車あんぜん点検

3 個人情報保護に向けた取組

個人情報保護研修を全整理員に対して実施するとともに、「プライバシーマーク」の認証基準に基づき、個人情報の適正な取得、保管、利用を行いました。

また、定期監査時に個人情報の管理状況について監査を実施しました。監査結果は概ね良好であり、指摘事項については速やかに改善しました。

4 研修等の実施

自転車駐車場整理員を対象に、各種研修を行いました。

修名	主な内容
新整理員研修	運営理念・運営方針、就業時の注意点 お客様対応、個人情報保護
正規整理員移行時研修	正規整理員としての業務処理及び心構え 車両取扱いの基本の再確認
接遇研修 (8月)	お客様から見た整理員の接遇
コンプライアンス研修 (8月)	法令及び社会規範遵守の重要性
個人情報保護研修 (8月)	個人情報の取扱いに関する事故を起こさないために
人権啓発研修 (8月)	SDG s と人権

5 放置自転車等の移動並びに保管場所における保管・返還及び処分

(1) 市内8区における施設状況 (令和8年3月31日現在)

合計8区 西部区域 (旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区)
北部区域 (港北区、緑区、青葉区、都筑区)

○ 自転車等保管場所 5か所

(2) 放置自転車・バイクの移動業務

駅周辺の放置禁止区域に放置されている自転車・バイクを、横浜市の指示に基づき、保管場所に移動しました。

○移動対象駅 51駅 (市内8区)

○移動回数 392回

(3) 保管・返還業務

移動した自転車・バイクは6,645台で、返還した台数は4,614台、返還率は69.4%でした。また、引取りのない自転車等は、リユース及び資源再利用を行いました。

放置自転車等の移動、返還等実績

項目	①移動(台)	②返還(台)	返還率 ②/①(%)	③リユース(台)	③ 資源再利用 (台)
自転車	6,380	4,415	69.2	1,445	363
バイク	265	199	75.1	—	85
計	6,645	4,614	69.4	1,445	448

(注) 移動台数＝返還台数＋リユース台数＋金属資源再利用とならないのは、前年度移動分を含むためです。

6 自転車会事業の実施

市内小中学校等へのチラシの配付など、市民に対する自転車保険加入促進に向けた普及活動を推し進めた結果、令和8年3月までの入会者数（会員数）は、8,838人となりました。

なお、自転車会及び自転車保険の周知については、地区交通安全協会にイベントや交通安全教室におけるチラシ・パンフレットの配付等、多大なご協力を頂いています。

横浜市交通安全協会 自転車会

ハマの自転車保険^{【傷害・賠償保険】}に入りましょう

自転車会入会および 自転車保険加入のご案内

知っていますか？
自転車保険の加入義務化
※2019年10月～神奈川県義務化

割安な自転車保険
1か月あたり**約170円**～

個人賠償責任補償 1億円
示談交渉サービス付き
(日本国内のみ)

今すぐWEBで簡単に入会いただけます！
どなたでも入会できます！

ハマの自転車保険 検索 WEB簡単に入会！ 詳しくはホームページよりご確認ください。
<https://www.yokohama-ankyo.or.jp/jitenshakai/>

【ハマの自転車保険】は
会員の方に手厚い補償をお手頃に提供するために生まれた保険です！！

補償内容(保険金額)と年間掛金

	プランA 【賠償補償: 家族全員】 【死亡・後遺障害補償: 本人限定】	プランB 【賠償補償: 家族全員】 【死亡・後遺障害補償: 本人限定】	プランC 【賠償補償: 家族全員】 【死亡・後遺障害補償: 本人限定】	プランD 【賠償補償: 家族全員】 【死亡・後遺障害補償: 本人限定】
【賠償責任】 どのプランも本人・配偶者・親族の範囲で有効となります	個人賠償責任補償金額 1億円 + 示談交渉サービス付き (日本国内のみ)			
【傷害補償(ケガの補償)】	本人 死亡・後遺障害保険金 500万円 入院保険金(日額) 2,000円 死亡・後遺障害保険金 500万円 入院保険金(日額) 2,000円	本人 死亡・後遺障害保険金 1,000万円 入院保険金(日額) 2,000円 死亡・後遺障害保険金 500万円 入院保険金(日額) 2,000円	本人 死亡・後遺障害保険金 1,000万円 入院保険金(日額) 2,000円 死亡・後遺障害保険金 500万円 入院保険金(日額) 2,000円	本人 死亡・後遺障害保険金 50万円 入院保険金(日額) 500円 死亡・後遺障害保険金 50万円 入院保険金(日額) 500円
年間掛金	2,450円 ※2,500円	3,030円 ※3,080円	3,880円 ※3,930円	1,980円 ※2,030円

※1. 自転車保険加入者には、【傷害補償】の保険金額が2倍となります。【賠償責任】の範囲は、本人・配偶者・親族の範囲で有効となります。【賠償責任】の範囲は、本人・配偶者・親族の範囲で有効となります。【賠償責任】の範囲は、本人・配偶者・親族の範囲で有効となります。

このご案内は、概要を説明するためのものです。詳細は各プランのパンフレットをご覧ください。また、各プランの保険料は、年齢・性別・加入期間によって異なります。詳しくは、各プランのパンフレットをご覧ください。

自転車安全利用 5原則

- 車道は原則、左側を通行
- 歩道は例外、歩行者を優先
- 交差点では番号と一時停止を守って、安全確認
- 夜間はライトを点灯
- 飲酒運転は禁止
- ヘルメットを着用

お申込み・保険に関するお問い合わせ

販売代理店 **トータルリスクサポート株式会社**
横浜市南区新町1-12-12 KSCビル3階A
TEL: 045-663-3011 【受付時間】 平日: 午前9時～午後5時

引当保険会社 **損害保険ジャパン株式会社**
横浜市中区本町2-12 損保ジャパン横浜ビル6F
TEL: 045-661-2708 【受付時間】 平日: 午前9時～午後5時

自転車会・委員会等に関するお問い合わせ
横浜交通安全協会
TEL: 045-663-3011 【受付時間】 平日: 午前9時～午後5時

自 転 車 駐 車 場 区 別 一 覧

令和8年3月31日現在

収容台数等	自転車駐車場名	収容台数等	自転車駐車場名
旭区 (13か所) 4,351台	鶴ヶ峰駅北口		東戸塚駅東口
	鶴ヶ峰駅北口第二		東戸塚駅東口第二
	鶴ヶ峰駅北口第三		東戸塚駅東口第三
	鶴ヶ峰駅北口第四		東戸塚駅東口第四
	鶴ヶ峰駅南口第三		東戸塚駅西口
	二俣川駅		東戸塚駅西口第二
	二俣川駅第二		舞岡駅
	二俣川駅第四	栄区 (3か所) 3,908台	本郷台駅
	二俣川駅第五		大船駅東口第二
	希望ヶ丘駅北口		大船駅東口第三
	希望ヶ丘駅南口	泉区 (5か所) 1,895台	弥生台駅南口
	希望ヶ丘駅南口第二		踊場駅
	三ツ境駅北口第三		中田駅
戸塚区 (20か所) 11,875台	戸塚駅東口		中田駅第二
	戸塚駅東口第二		立場駅
	戸塚駅東口第三	瀬谷区 (6か所) 3,269台	瀬谷駅北口
	戸塚駅東口第五		瀬谷駅北口第五
	戸塚駅東口第六		瀬谷駅南口
	戸塚駅東口第七		三ツ境駅北口
	戸塚駅東口第八		三ツ境駅北口第二
	戸塚駅東口第九		三ツ境駅南口
	戸塚駅西口第五	合 計	(47か所) 25,298台
	戸塚駅西口第十		
	戸塚駅西口第十四		
	戸塚駅西口第十五		
	戸塚駅西口第十八		

自転車等保管場所一覧

令和8年3月31日現在

区域	区	保管場所	所在地	移動対象駅	移動対象駅	所轄警察署
西部	旭	本村町	旭区本村町28	希望ヶ丘、鶴ヶ峰、二俣川、南万騎が原	4	旭
	戸塚	平戸町	戸塚区平戸町730先	戸塚(東)、戸塚(西)、舞岡、東戸塚	4	戸塚
	瀬谷	阿久和西	瀬谷区阿久和西3丁目38-18	瀬谷、三ツ境	2	瀬谷
	泉			中田、踊場、いずみ中央、いずみ野、立場、下飯田、緑園都市、ゆめが丘、弥生台	9	泉
北部	港北	早渕港北	都筑区早渕1丁目16-65	新横浜、小机、綱島、日吉、新羽、岸根公園、日吉本町、大倉山、菊名、妙蓮寺、高田	11	都筑
	都筑			中川、センター北、センター南、仲町台、北山田、東山田、都築ふれあいの丘、川和町	8	
	緑	下谷本町	青葉区下谷本町37	鴨居、中山、十日市場、長津田	4	青葉
	青葉			たまプラーザ、あざみ野、江田、市ヶ尾、藤が丘、青葉台、恩田、こどもの国、田奈	9	
計		5か所	—	—	51	—

令和 7 年度 自動車等対策事業報告

違法駐車をなくし、交通事故の防止に寄与するため、駐車場を整備し、駐車場利用者に安全で快適に利用していただけるよう管理運営を行いました。また、交通安全活動の拠点の一つとして駐車場利用者に対して交通安全の呼びかけ活動も推進しました。

また、75歳以上の高齢運転者が運転免許更新時に実施する認知機能検査は神奈川県公安委員会の認定機関として実施しました。

1 自動車駐車場等の管理運営

(1) 月極駐車場の年間契約率

自動車は、93.5%で前年度に比べ0.1ポイント増。自動二輪車は、94.7%で前年度に比べ1.5ポイント増加しました。

<自動車駐車場月極年間平均契約率推移>

契約種別	令和 7 年度		令和 6 年度	対前年度 増減
	収容台数	年間平均 契約率	年間平均 契約率	
自動車	352台	93.5%	93.4 %	0.1ポイント
自動二輪車	41台	94.7%	93.2 %	1.5ポイント

(2) 時間貸駐車場稼働率

時間貸自動車駐車場は、23.1%で前年度に比べ0.6ポイント増。自動二輪車は、22.4%で、前年度に比べ1.3ポイント減。自転車駐車場は、34.1%で、前年度に比べ7.4ポイント増加しました。

<自動車等駐車場時間貸年間平均稼働率推移>

契約種別	令和 7 年度		令和 6 年度	対前年度 増減
	収容台数	年間平均 稼働率	年間平均 稼働率	
自動車	249台	23.1%	22.5 %	0.6ポイント
自動二輪車	29台	22.4%	23.7 %	△1.3ポイント
自転車駐車場	74台	34.1%	26.7 %	7.4ポイント

(3) 適切な業務執行に向けた取組

ア 巡回点検・清掃の実施

お客様が気持ちよくご利用いただけるよう、駐車場の巡回を毎月2回以上実施し、場内点検するとともに清掃等を実施しました。

特に夏場は、除草を重点的に行っております。

イ 定期監査の実施（8月）

野毛山有料駐車場及び野島自動車駐車場を対象に定期監査を実施し、不正や誤りの早期発見や改善、効率的・効果的な業務執行に努めました。

ウ 経費節減対策

阪東橋自動車駐車場の区画番号は、業者に委託することなく直営で塗装作業をすることで経費節減に努めました。



施工前



施工後

(4) 個人情報保護に向けた取組

個人情報保護研修を全整理員に対して実施し、適正な取扱いに努めました。

また、野毛山有料駐車場及び野島自動車駐車場では、「プライバシーマーク」の認証基準（入退室管理の実施、個人情報の適正な保管等）を推進しております。

2 時間貸自動車駐車場の運営終了等

平成6年2月開設した野毛山有料駐車場は、施設改修のため令和8年3月31日をもって管理運営を終了しました。

※自動車 110台

3 交通安全啓発活動の実施

野毛山有料駐車場、野島自動車駐車場を交通安全活動の拠点の一つとして活用し、各種交通安全運動などに合わせ、交通安全の呼びかけやのぼり旗の設置など、広報啓発活動を行いました。

4 研修等の実施

自動車駐車場整理員を対象とした各種研修を実施しました。

(1) 通常研修

研修名	主な内容
新整理員研修	接遇、お客様対応 機械操作の基本の理解
正規整理員移行時研修	正規整理員としての業務処理及び心構え 機械操作の基本の再確認
事例研修（随時）	業務処理ミス等の再発防止研修
健康管理研修（7月）	熱中症の予防
接遇研修（9月）	お客様から見た整理員の接遇
コンプライアンス研修（9月）	法令及び社会規範遵守の重要性
個人情報保護研修（9月）	個人情報の取扱いに関する事故を起こさないために
人権啓発研修（9月）	SDG s と人権

(2) 防災訓練

研修名	主な内容
防災訓練（7月）	初期消火、119番通報訓練



初期消火訓練（野毛山有料駐車場）

5 認知機能検査の実施

75歳以上の高齢運転者が運転免許更新時に実施する認知機能検査は神奈川県公安委員会の認定機関として、高齢者特有の判断力の低下による事故を防止するために必要な検査を行いました。

実施回数： 103回 受講人数： 369人

自動車駐車場等一覧

令和8年3月31日現在

No.	名 称	所 在 地	開設年月	面 積 (㎡)	駐車台数		月 極 時間貸
					自動車	二輪車等	
1	西寺尾二丁目自動車駐車場	神奈川区西寺尾二丁目72-6	H. 16. 2	676	21	7	月 極
2	野毛山有料駐車場	西区老松町1	H. 6. 2	3,161	110		時間貸
3	横浜西口自動二輪車駐車場	西区北幸二丁目3番4の一部	H. 18. 3	117		29	時間貸
4	中区役所前自転車駐車場	中区日本大通34番地先	R. 2. 8	75		74	時間貸
5	阪東橋自動車駐車場	南区二葉町1丁目1番地	H. 2. 7	2,477	76	15	月 極
6	東芹が谷自動車駐車場	港南区東芹が谷23-7	H. 7. 4	225	9		月 極
7	港南台自動車駐車場	港南区港南台一丁目30	H. 7. 4	421	19		月 極
8	下永谷四丁目自動車駐車場	港南区下永谷四丁目2281番1	H. 31. 4	3,254	78		月極
					7		時間貸
9	桜道自動車駐車場	港南区港南六丁目2333-10外	H. 24. 7	711	21	7	月 極
10	二俣川自動車駐車場	旭区さちが丘136番地1先	S. 63. 2	149	12	1	月 極
11	二俣川第二自動車駐車場	旭区さちが丘50番地	H. 10. 7	237	10		月 極
12	森一丁目自動車駐車場	磯子区森一丁目2049番地先	H. 19. 3	328	11	5	月 極
13	洋光台自動車駐車場	磯子区洋光台三丁目3-14	R. 4. 4	616	24		時間貸
14	野島自動車駐車場	金沢区野島町478番地	S. 63. 7	1,204	92		時間貸
15	富岡東自動車駐車場	金沢区富岡東二丁目2555番89	H. 15. 10	283	14		月 極
16	釜利谷東自動車駐車場	金沢区釜利谷東六丁目738-1 他	H. 26. 7	248	5		時間貸
17	霧が丘自動車駐車場	緑区霧が丘六丁目16番地先	H. 3. 10	879	40		月 極
18	美しが丘自動車駐車場	青葉区美しが丘西三丁目100- 3の一部	H. 23. 8	138	4	1	月極
					3		時間貸
19	不動坂自動車駐車場	戸塚区柏尾町300番地先	H. 17. 12	368	28		月 極
20	長沼町自動車駐車場	栄区長沼町334番地先	H. 19. 9	291	10	1	月 極
21	長沼町第二自動車駐車場	栄区長沼町723-5外	H. 23. 4	495	17	5	月 極
					2		時間貸
小 計				16,353	613	145	
合 計					758		